総明会会報

発行
明治中学・高等学校同窓会
〒101 千代田区猿楽町2-4-1
明治大学付属明治高等学校内
TEL(03)3296—4555

発行人／専務理事三浦昭生
編　集／昭和42年卒同期会

総明会

五十九年開催の第二十回総会で命名された。初代校長の鵜沢総明先生のお名前をいただき、かつ、明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。

第30回記念総会開催

11月5日(土) 午後4時 開場
午後4時半 講演会 午後6時 総会
ホテル ニューオータニ 本館 鶴の間

第30回総明会総会および懇親会を開催します。

30回記念特別企画として午後4時半から同会場にて、三迫ボクシングジム会長・元東洋フライ級チャンピオン三迫仁志氏(昭和27年卒)の記念講演会を催します。世界チャンピオン輪島功一・三原　正・友利　正らを育てた三迫氏が今の若者の育て方など興味深い内容の講演をする予定です。

総会後の懇親会では海外旅行等豪華賞品が当たる福引きがあり、入場者全員の方にお渡しする土産品としてホスト幹事学年昭和42年卒「M41」の有志が自社製品を中心にバラエティーに富む商品を用意しました。どんな土産品がお手元に届くかは、お帰りの際のお楽しみです。

同期をはじめ先輩後輩そして奥様もお誘い合せのうえ皆様のご来場をお待ちしております。

(講演会関連記事6面、総会・懇親会詳細は16面に)

—総明会評議員会活性化へ—

ファジィと質実剛健　向殿会長始動

母校愛を基盤に組織と財政の確立を

向殿政男総明会会長は平成四年会長就任以来組織の確立に取り組んできましたが、平成六年評議員会の活性化を計るため総明会役員に昭和四十年代卒業の役員を選任し、役員スタッフ会議を二ヵ月に一度開き、財政基盤の確立を目標に収入計画を精力的に検討しています。

現在の総明会財源は高校卒業時に新会員入会金として一人一万円納入して頂いている入会金収入に大きく依存し、会員からの年会費収入は各卒業同期会毎に戦前同期会は一万円、戦後同期会は一万五千円納入しているにすぎず、同期会未結成の年次ではその同期有志が年会費を自己負担してますし、この会報経費も協賛広告収入がなければ発行できないのが現状です。会報読者すなわち総明会会員の皆様から広く薄くスムーズに年会費を納めて頂けるかを検討中です。しっかりした財源の確保は組織確立の上で最重要課題ですので、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

ファジィ教授が質実剛健を基盤に母校をバックアップしようという意気込みは高く評価されるものです。

(会長挨拶は2面に、活動・会計・事業報告は4～5面に)

新校長に石崎章生先生
本年六月に着任

平成六年三月三十一日付けで村野圭吾前校長が任期満了につき退職されてから、明治中学・高等学校の校長は中学については桜井正美教頭が、高校については清水紀夫教頭が、二ヵ月間校長代行をつとめていましたが、ようやく本年六月一日付けで石崎章生先生(六十二才)が着任されることになりました。ここ二十年ほどは明治中学・高等学校の生え抜きの先生が校長に就任していましたが、今回は都立高等学校の校長を経験した先生が明治中学・高等学校の指導をされることとなりました。石崎章生新校長先生は明治大学商学部を昭和三十一年卒業されており、お話を伺っても、明治大学の卒業式における各学部の総代が明治高等学校出身者が多いということ等から、付属高等学校としての明治高等学校に以前より関心を持たれており、その豊富な経験を生かしての校長着任には明治大学を始め各方面から大きな期待が寄せられています。十一月五日の総明会総会にはご出席いただき一人でも多くのOBの皆様とご歓談する予定です。

(新校長先生のご挨拶は2面に)

主な記事から

明治大学記念館講堂改築 …… 3面
四十九年ぶりの卒業式 …… 11面
中学・高校募集要項 …… 12面
好評のOBによる講演会 …… 13面
OBも文化祭に顔を出せ …… 14面
幹事学年の活動報告 …… 15面

コラム　紫紺の旗

十二月になると、テレビから、『オーオー明治』の校歌が聞こえてくる。大学ラグビーである。社会人になると、校歌を歌ったり聞いたりする機会に出会うことは、ほとんどないのではないだろうか。たまに、テレビから校歌が聞こえると妙に懐かしい気分になるのである。

我が明治中学・高等学校は、学校法人明治大学が設置する唯一の付属校であるとともに、校歌及び応援歌が明治大学と全く同じであることが大きな特徴となっている。私が明治中学に入って、最初の音楽の授業で、Y君が丸山ミヨシ先生に、「まず校歌を教えてください。」と頼んだのを今でもはっきりと覚えている。丸山ミヨシ先生は、やさしい笑顔でY君の頼みを聞いてくださって次の授業で校歌と応援歌を教えてくれた。ということで、私の同期生は校歌と応援歌を正確に歌えるということにおいて、他期生より勝るのではと、妙なところで、誇りに思っているのである。

今では年に一回の総明会で、そして同期会で肩を組み大声で校歌を歌うくらいであるが、その時身震いがしてくるのは、私だけではないであろう。

母校愛は校歌から。　K・H

学生たちへの愛情は、
いつの時代も変わらない
駿台——昔と今

昭和初頭の駿台高等予備校の生徒募集新聞広告を見ると、「我学会の弊風たる詰込主義を排し、専ら基本原理の了解に務め、之が運用の玄妙を授け、以て推理及判断力の涵養増進を期す」とある。それから70余年、いまも駿台の授業は、「学問の基本を理解させる」ことがテーマである。

駿台予備学校
学園長　山﨑春之　(第27回卒)

東京校 03(5259)3111　八王子校 0426(42)5811　大宮校 048(645)3611　横浜校 045(316)2311
名古屋校 052(204)2311　京都校 075(842)1111　京都南校 075(682)2222　大阪校 06(865) 1111
大阪南校 06(531) 1111　神戸校 078(241)1100　札幌系列校 011(709)7111　仙台系列校 022(296)3701
千葉系列校 043(221)3811　柏系列校 0471(62)2771　福岡系列校 092(741)1911

総会に寄せて

総明会会長　向殿　政男

総明会の皆様、こんにちは。現在、会長という大役を仰せつかっている向殿です。

明治中学・高等学校の同窓会である当会も、現在の形になってから今年で三十周年という記念すべき総会を迎えることになりました。創設当時の諸先輩方のご苦労が偲ばれると共に、ここまで発展・充実させ、継続させて来られたこれまでの役員諸氏、各年代のホスト学年の皆様、及びご協力下さった会員の方々のご努力に対し、ここに深く感謝申し上げると共に、皆様と共にお祝いしたいと存じます。

さて、私もささやかながら教育の一端を担わせて頂いている関係上、時々、学校、それも私立の学校とはそもそも一体何なんだろうと考える事があります。私学を、教育の面や、文化、伝統、更に社会や歴史の面からも考えることが出来ると思いますが、ここでは、組織という観点から眺めて見ましょう。もちろん母校は私立で明治大学の付属です。明治大学には、憲法に相当する寄付行為という変な名前の規則があります(当然、どんな私立の学校にもあります)。寄付行為という予想外の名称がついているのは、そもそも私立の学校とは、ある理念に基づいた教育を実現する為に、その教育理念に賛同した人々が寄付を出し合って出発するものであるということから来ているのです。その教育理念を実現するために、その寄付を元手に一種の会社組織である学校法人が組織されるのです。学校法人には評議委員会というものが設けられて、それが最高意思決定機関となるのが一般的です。そして、評議委員会が理事を選出して実際の学校法人の管理・運営に当たらせ、学校法人が、教員を雇って実際の教育を、職員を雇って法人の実務や教育の事務等を行わせるという構造になっているのが普通です。明治大学の場合、評議委員会のメンバーのうち、半分は校友から選ばれ、残りの半分が教職員から選ばれる規則になっています。母校は、学校法人明治大学が設置している中学校・高等学校なのです。

長々と学校の組織について述べて来たのは、私立の学校にとって、本来、校友の役割がいかに大きいかと言うことを紹介したかったからです。私立の学校とは、ある独特の教育理念を実現させるために、学校法人、教職員、校友、学生、学生の父母が一体となって構成している共同体なのです。学校法人や理事だけのものでも、教職員だけのものでも、校友だけのものでも、まして学生や学生の父母だけのものでも、いずれでもありません。皆のもので、それを結びつけているのが、その学校の独特の教育理念、すなわち、ユニークな校風、学校の個性なのです。個性と特色の無い私立の学校は存在意義がありません。

総明会のあり方を考えるとき、学校の組織に関する上のそもそも論は、重要です。母校の校風、個性的な特色を実際に体験・体現しているのは校友、すなわち、総明会の会員だからです。母校の掲げる教育方針と理念の実現に、更に特色豊かに母校が発展することに少しでも貢献し、その期待に応えるためにも、総明会は更なる発展と充実をしなければなりません。前回、総明会の会長をお引き受けして以来、例えば、総明会と現役の高校生や中学生とのパイプ役を目指したコミュニケーション誌の発行(卒業したての大学生に参加してもらっています)、スタッフ会の充実及び評議員会のあり方等の検討の開始(新しい人に大分入ってもらっています)等々、色々な試みをしているところです。これらを継続すると共に、当面の課題として、組織の確立と財政基盤の充実に取り組んで行きたいと思います。総明会の充実のためには組織と財政の確立が第一と考えるからです。例えば、まだ同期会が結成されていない学年には同期会を結成するように組織的に支援をしたり、また新しい会費制度を考えたりしていきたいと思いますので、是非とも皆様のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

経　歴
昭和36年3月　明治高等学校卒業。
明治大学理工学部情報科学科教授。明治大学評議員。元明治大学情報科学センター所長。(社)私立大学情報教育協会常務理事。日本ファジィ学会会長。

総会に寄せて

校長　石崎章生

同窓会の皆様にはご健勝で各界の各分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。

この度、六月一日付で明治高等学校の校長として着任いたしました。昭和三十一年三月明治大学商学部を卒業し、公立校三十余年の経験を持ちますが、社会的に高い評価を得ております生徒、八十余年の伝統を持ち幾多の著名な卒業生を有す明治高等学校をお預かりいたしますことは、身に余る光栄であり、その責務の重さを強く感じております。また、私が教員としての基本をご教示いただいた山田市郎校長先生が本校の卒業生であり、しかも教鞭を執っていらしたことを知り、不思議なご縁があると驚いております。

さて、二十一世紀に向けての新しい教育の狙いとして、豊かな心を持ちたくましく生きる人間、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる人間の育成が挙げられています。そのためには、生徒に強くたくましく生き抜く気力とそれを支える体力、そして自ら考え表現し行動できる能力を身につけさせることが必要となります。また、学ぶ目的を悟らせ学ぶことの楽しさを味わい、学ぶことによって得られる成就感を実感させることにより、さらに広い分野へと自らの学習意欲を向上させる力を身につけさせることも必要となります。

明治高等学校の建学の精神「独立・自治」と校風「質実剛健」は、本校の不易の教育理念であるばかりでなく、正に時代の要請に応えている教育目標であり、明治高等学校は建学以来ずっと実践をしてきております。

そこで、歴代校長先生をはじめ諸先生方、保護者・同窓生の皆様方が立派に築き上げられました明治高等学校をより一層充実、発展させることが、私に課せられた使命と考え、一生懸命努力させていただきます。よろしくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、これからの高齢化社会では、同窓会活動の持つ意味も、大きくなっていくと思います。会員一人ひとりの絆がより強く結ばれ、発展されることを祈念いたします。同窓生皆様の青春の日の故里、明治高等学校をいつまでも愛し、ご支援下さることを重ねてお願い申し上げます。

経　歴
昭和7年東京都生まれ。昭和31年明治大学商学部卒業。都立葛飾商業高校教諭等を経て、同第四商業高校校長等歴任。平成5年東京都教育庁人事部に勤務、平成6年6月校長に着任。

総明会

名誉会長　坂本朝一(昭和九年卒)
名誉顧問　片岡龍夫(大正一〇年卒)
会長　向殿政男(昭和三六年卒)
副会長　山浦晟暉(昭和二九年卒)
副会長　山崎敬生(昭和三二年卒)
専務理事　三浦昭生(昭和三八年卒)
顧問　小林昭雄(昭和二一年卒)
顧問　卯木敏夫(昭和二六年卒)
監事　高橋信雄(昭和二五年卒)
監事　大場隆之(昭和三〇年卒)

事務局長　尾島育四郎(昭和四一年卒)
財務部長　増田利明(昭和三八年卒)
組織部長　長棟良元(昭和三七年卒)
事業部長　結城康郎(昭和四二年卒)
クラブOB会部長　米山広昭(昭和四〇年卒)
副組織部長　粟野哲也(昭和四九年卒)
学校代表　谷正之(昭和三六年卒)
事務局長補佐　服部雄二(昭和四四年卒)
事務局広報部長　菊地博道(昭和四一年卒)
事務局書記　原田繁(昭和四四年卒)
事務局書記　高村光昭(昭和四四年卒)
組織部副部長　八木下恵三(昭和四三年卒)
組織部組織員　家中勉(昭和四四年卒)
財務部副部長　関谷芳久(昭和四四年卒)
財務部会計担当　山形英明(昭和四五年卒)
事業部副部長　伊藤茂雄(昭和三一年卒)
会旗担当

明治大学記念館講堂改築問題について

駿河台地区施設整備計画の一環

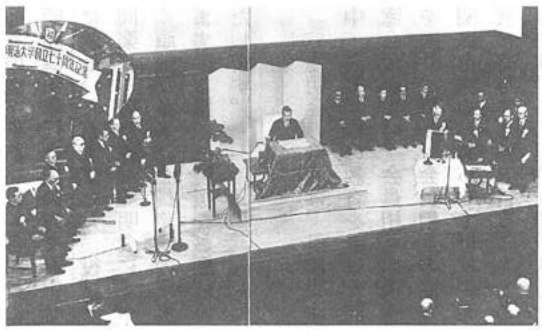
二十年以上前の明治高等学校卒業生ならば、明治大学記念館講堂は入学式、卒業式が行われた思い出の深い建物でしょう。しかし、現在駿河台の顔ともいえるこの記念館講堂は老朽化により取壊しが決まっています。これは明治大学の駿河台地区施設整備計画の一環として行われるものです。この計画によると現在の記念館講堂のある地区はA地区、その御茶ノ水駅側にある大学会館・大学院の一角をB地区として、計画完成後は明治大学講堂は多目的ホールとしてB地区に移るようです。

盛大な落成式典

記念館講堂は大学の資料によると、昭和三年四月二十一日に落成され、式典は四日間に及び、第一日目は創立者岸本辰雄胸像の除幕式、当時の田中義一内閣総理大臣の祝詞があり、来場者総数は一万四千人余と記録されています。入口上にはステンドグラスが光り、舞台の両端上には学問の神としてソクラテスと孔子の像があり、天井や二階席の傾斜などには古き良きものといった趣が感じられます。

昭和天皇御臨席　創立70周年記念式典を挙行

一九八〇年発行の「明治大学百年史」で特筆されるものは、昭和二十五年十一月に昭和天皇の御臨席のもとに創立七十周年記念式典が記念館講堂において挙行されたことでしょう。この写真を見ると、記念館講堂の壇上中央に昭和天皇が御臨席になり、右側で鵜沢総明総長が祝詞を読んでいます。さらに左側には、衆参両議院議長、東京大学、早稲田大学両総長が列席し、壮厳かつ盛大な式典であったことが推測されます。



学生運動の舞台に

また、昭和四十四年大学立法に反対する各大学学生三千五百人が記念館講堂で大学立法反対抗議集会を開き「カルチェラタン闘争」がくりひろげられました。駿河台校舎をはじめ全校舎がバリケード封鎖されたことを記憶されている諸氏も多いでしょう。このように歴史とともに歩んできた記念館講堂ですが、昭和五十四年の建物調査の結果では既に耐命年数に達しており、特に二階席は立ち見はダメとか、両端から座ってもらうとかの規制がつけられています。

移転保存は無理

現在では五十余のサークルが音楽練習などに使用していますが、それらの学生の記念館講堂に対する思いは、我々OBに勝るとも劣らないものがあります。明治大学を紹介する写真にはすべて記念館講堂が写っておりますし、記念館講堂は明治大学の顔だから何とか残せないものかという声が圧倒的です。早稲田大学では、旧い建物は信州の追分に移したという話もあり、明治大学総合施設整備準備室では調査もしたのですが、早稲田大学の移転した建物は木造であり、我が記念館講堂は鉄筋コンクリートであって移転は無理との結論を出しているようです。

市民に開放する新構想

新しい構想は二案あり、A案は一千八百四十座席で多目的ホールとして、B案は一千四百座席で質の良い小ホールをめざしています。両案とも地域住民、一般市民に開放できるホールとして駿河台地区全体をみての構想です。しかし、この構想は遅れ気味で、ここ数年は古き良き記念館講堂の取壊しはないでしょう。OB諸氏は近くにきた際にはぜひとも内に入って昔の思いに浸って頂きたいと思います。

明治高等学校では、現在入学式、卒業式ともに体育館で行われていますが、将来立派な大学講堂が竣工されれば、付属高等学校として使用するのも一案でしょう。

明治大学理事長
岡村了一

明治大学総長
宮崎繁樹

明治大学学長
岡野加穂留

明治高等学校長
兼明治中学校長
石崎章生

昭和三六年卒業
総明会会長
明治大学理工学部教授
日本ファジィ学会会長
向殿政男
〒158 世田谷区深沢五―一八―二〇
☎ 三七〇―一一六九一

昭和二九年卒
総明会副会長
㈱東京富士カラー
代表取締役社長
山浦晟暉
〒166 杉並区和田一―一―一二
☎ 三三八二―四一一一
FAX 三三八四―八二一一

市原企業株式会社
総明会副会長
取締役社長
山崎敬生
(昭和三二年卒)
(明治会)
取締役総務部長
山崎弘滋
(昭和二〇年卒)
〒290 市原市五井一七一
☎ 〇四三六―二二―八一〇〇

昭和九年卒業
総明会名誉会長
坂本朝一
〒215 川崎市麻生区上麻生二―三四―二四
☎ 〇四四―九八八―九三六六

大正一〇年卒業・五明会
総明会名誉顧問
片岡龍夫

昭和三八年卒
総明会専務理事
㈲三浦屋
三浦昭生
〒170 豊島区東池袋二―五七―一
会社 ☎ 三九二一―一五七〇
自宅 ☎ 三九七一―六三三二

昭和四一年卒
総明会理事・事務局長
三徳印刷㈱
尾島育四郎
〒104 中央区京橋二―三―四
☎ 三二八一―三〇一六(代)
FAX 三二八一―七二八九

昭和三八年卒
総明会理事・財務部長
㈱ニチドウ
代表取締役
増田利明
〒124 葛飾区西新小岩四―三七―九
☎ 三六九四―二七一〇
FAX 三六九四―一六六六

昭和三七年卒
総明会理事・組織部長
㈱合同
代表取締役社長
長棟良元
本社 〒130 墨田区業平二―八―八
☎ 三八二九―五五五五(代)

昭和三四年卒
明治中・高校PTA会長
㈱岡崎鋼鉄商店
代表取締役
岡崎安彦
〒130 墨田区本所四―二二―一五
☎ 三六二四―七三七七
FAX 三六二二―五六四一

昭和三八年卒
明治中・高校PTA総務委員長
㈱丸愛
取締役
渡辺昭宏
〒135 江東区門前仲町一―六―一二
☎ 三六四一―八三六一
(自宅) 市川市菅野一―二七―一七
市川コーポラス五〇七
☎ 〇四七三―二六―二〇〇〇

昭和三四年卒
明治中・高校PTA役員
千歳建設㈱
代表取締役
千崎忠昭
〒173 板橋区仲宿五二―一三
☎ 三九六一―一一六七
FAX 三五七九―三一六〇

昭和四八年卒
明治中・高校PTA役員
㈱大食
専務取締役
小林正邦
〒104 中央区佃三―七―八
☎ 三五三三―一八八三

平成五年度活動報告

専務理事　三浦　昭生

総明会は、この十一月五日(土)に第三十回総会を迎えます。今、皆様がお読みの「総明会会報」は、第二十号になります。これらのことは、旧制中学、新制中・高の諸先輩の方々のご努力のおかげと感謝しております。

まず一番にご報告致しますことは、役員改選のことです。昨年十一月六日に行われました第二十九回総会におきまして、向殿政男会長（昭和36年卒）が再任されました。長年にわたり副会長として、総明会の発展にご努力いただいた小林昭雄氏（昭和21年卒）と卵木徹夫氏（昭和26年卒）のお二方がご勇退し、山浦晟暉氏（昭和29年卒）と山崎敬生氏（昭和32年卒）のお二方が副会長に選任されました。小林、卵木の両氏には、顧問に就任いただきました。

監事及び専務理事他の理事につきましては、会長より選任され、評議員会で承認されました。役職、氏名は次の通りです。

（尚、事務局長以下は理事です）

監　事
高橋　信雄（昭和25年卒）
監　事
大場　隆之（昭和30年卒）
専務理事
三浦　昭生（昭和38年卒）
事務局長
尾島育四郎（昭和41年卒）
学校代表
粟野　哲也（昭和49年卒）
財務部部長
増田　利明（昭和38年卒）
財務部副部長
家中　勉（昭和44年卒）
組織部部長
長棟　良元（昭和37年卒）
組織部副部長
高村　光昭（昭和37年卒）
組織部副部長
米山　広昭（昭和40年卒）
事業部部長
結城　康郎（昭和42年卒）
事業部副部長
山形　英明（昭和45年卒）
クラブOB会部部長
米山　広昭（昭和40年卒）

その他、事務局員・各部員に、昭和四十年代卒業の方々を中心に就任いただきました。役員一同楽しく有意義な総明会にすべく頑張ります。会員諸兄のますますのご協力ご後援をお願いいたします。

■

「総明会の目的は、母校明治中・高等学校の教育を受けた同窓会員が集い、会員相互の親睦を図り、更には会員相互の協力関係を深め、あわせて母校の発展に寄与する」と言うことであります。この目的を達成するためこの平成五年度も、年一回の定期総会をはじめ、次の事業活動を行いました。

総会は、第二十九回を迎え、昭和四十一年卒同期会「四一明友会」の担当で、十一月六日(土)、東京会館に参加者三百余名をみて大盛況のうちに開催されました。記念として、参加者全員にMEIJIの文字入のTシャツが配布され、アトラクションの中国激雑団など好企画に新・旧いずれの会員にも好評裡に終了しました。

在校生へのパブリシティとして「総明 ネットワークM」を十二月二十四日の終業式に発行いたしました。この広報紙の発行には、PTAと大学在学中の若い会員（平成二年から平成五年卒業）のご協力がありました。

■

総明会評議員会

各学年代表で構成する評議員会は、今年度三回開催しました。

■

明治中学・高等学校行事への参加

四月六日入学式、十月二・三日体育祭、十月三十・三十一日文化祭、二月二十一日新入会員（平成六年三月卒業の高校三年生徒二三九名）のための説明会、三月十日卒業式等の行事に正副会長並びに役員が参加しました。

恩師訃報

清水義弘元校長先生
平成五年十月十日、
六十七歳にて、
ご逝去されました。

三田行男先生
平成六年二月十九日、
六十五歳にて、
ご逝去されました。

両先生には総明会に対し、多年に亘りご支援をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

■

総明会は、会員各位のご協力によりまして、年々、順調に伸展しておりますが、未だ同期会の結成されていない学年がありますす。総明会は、同期会を組織の中心に活動しております。本部も組織部が中心に応援いたしますので、同期会を作りたいと思っている方はぜひご連絡ください。また組織部からお声をかけることもございます。その折は協力をお願いいたします。

事務局寸評

事務局長　尾島　育四郎

今回開催されます総明会の総会は、これまでの先輩、後輩の方々のご尽力によりまして第30回という記念すべき大会を迎える運びとなりました。此の度初めて明大中野高等学校同窓会組織「武陵会」の正副会長を招待する事になりました。

◆

過去には逆道な所お互いに角を出した時期もあったと思われますが？しかし大学に入学すると明治高等学校・中野高等学校出身者同志互いに接する時が多く、良い面が数多く発見され仲の良い友人になるケースが多く見受けられます。初めての同窓会組織同志が今後共に良い関係を続けて行く事を望み又そう願わずにはいられません。互いに明治を愛し・ボランティア精神の基・同窓会を長く継続する事に全力を傾けています。

◆

さて我々明治高等学校出身者が数多く大学を出て社会人になり家庭を持ち色々な分野で活躍している事を想う時、喜ぶ反面少し気になる事に直面します。それは子供が生まれ、育った子が男子の場合中学・高校生となる時に自分達の出身校（明治中学・高等学校）へ入れたいと想う親心であります。「下駄を履かせてほしい」「私学の特長を生かせ」等々虫の良い願いも時々耳にしますがこれは子供を持つ親の素直な考えかもしれません。親・子・孫と同じ学園で過ごしたいと会員が希望する母校であり続けて欲しいと思います。

◆

今総明会で取り組んでいる「財政基盤の確立」「組織の確立」という問題は若い人達の組織をより良く強化発展していく事、財政を強化して今後の若い人達に伝えて行く事等、大きな問題提起として進めています。本年度の新スタッフ17名程、今年のホスト学年も5名程、次回のホスト学年も数名参加して偶数月の第2月曜日に会議を構成しています。又各部会においては会議の準備の為に事前に会合を開き会員が一歩でも前に進む努力をしていますが色々な問題の壁に当り、事の難しさに直面しています。ただこの地道な努力が今後会員の方々に色々なご支援を必要とする時に少しでも負担にならない様又喜んでもらえる事を確信し全員で知恵を出し合っています。又昨年からスタートしました「M・総明ホットライン」も本年度第2回目の発刊がスタートしました。総明会と在校生の仲間意識・親睦を育てるという意見でスタートしました機関紙が後輩諸君の手に渡って総明会と現役の学生・父兄の交流を一層密にしております。

◆

先輩方が築かれてきた総明会が長く必要とされる限り五〇回一〇〇回と続いていくことでしょう。表面的には先輩後輩という世の時間差こそ有れみな楽しい仲間のはずです、互いにこの会の存在を感謝しなければならないと思います。ただし残念ながら卒業生が学校に訪問する時に集合できる校友会室の無い事です、一日も早く実現する事を願わずにはいられません。今後共、会の発展の為会員皆様のご支援をお願い致します。

昭和二八年卒
大橋法律特許事務所
弁護士
弁理士
大橋　正爾
〒169 新宿区百人町二－一六－四
☎三三七一－〇七三二
FAX三三七一－〇七七五

昭和二八年卒
第一法律事務所
弁護士
鶴見　祐策
〒104 中央区銀座四－九－六
銀座高島ビル四階
☎三五四三－六八五一
FAX三五四三－六六六〇

昭和三四年卒
小坂法律事務所
弁護士
小坂　嘉幸
〒110 台東区上野三－一七－八
田沼第一ビル四階
☎三八三三－六〇三二
FAX三八三三－六〇三七

昭和三六年卒
銀座シティ法律事務所
弁護士
谷　正之
〒104 中央区銀座一－八－一四
大新ビル八階
☎三五六一－八六八六(代)
FAX三五六一－八六八九

昭和三七年卒
新麹町法律事務所
弁護士
福島　啓充
〒102 千代田区麹町四－五－二二
睦ビル六階
☎三二三四－〇五二一
FAX三二三四－〇五二〇

昭和三七年卒
柚木法律事務所
弁護士
柚木（ゆのき）　司
〒101 千代田区神田須田町二－三－一
河合ビル八〇二
☎五二九四－六三九一～二
FAX五二九四－六三九〇

昭和三九年卒
前島法律事務所
弁護士
前島　良彦
〒107 港区赤坂二－一五－七
第2三州ビル三〇三号室
☎三五八五－一七八九
FAX三五八四－三六一五

昭和四一年卒
山近・矢作法律事務所
弁護士
矢作　健太郎
〒100 千代田区有楽町一－一二－一
DNタワービル一六階
☎三二一一－五四一〇
☎三二一一－六三八三
FAX三二一一－五四〇〇

平成五年度会計報告

総明会会計　二村　昌也

本年度の会計報告の特徴は、五年に一度発行する名簿の編纂に多くの費用がかかったのに比し、売却収入が少な過ぎた為に、例年通りの繰越金を残せなかった点にある。

名簿の発行は総明会の事業の一環であるから、独立会計を取る必要もなく、支出が上回ることは仕方ないが、五年間の積立額が減少の一途をたどっている所に問題があり、次回が大変だと思います。

名簿編纂にあたられた諸氏には、編纂の面倒な作業の他、広告の依頼や入金回収に大変ご苦労されました事、感謝致します。

又本年度第二十九回総会のホスト学年諸氏には、総会運営と広告の依頼に奔走され、会に収益を計上して下さいました事、ご苦労様でございます。

私事ですが本年度をもって会計の職を解いて頂く事になりました。新会計の増田、関谷両氏に今まで以上のご支援をお願いします。

上記の通り報告いたします。
平成6年3月31日
会長　向殿政男
会計　二村昌也
監査の結果相違ありません。
平成6年3月31日
監査　大場隆之
高橋信雄

総明会 平成5年度 会計報告

(自) 平成5年4月1日～(至) 平成6年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,784,798	第29回総会経費	3,751,067
第29回総会会費	2,565,000	第19号会報経費	2,338,581
第19号会報広告代	4,310,000	会議費	372,245
平成5年度会費	350,000	通信費	747,508
新会員入会金	2,390,000	事務・印刷費	296,490
新名簿売上金	544,000	公用費	198,150
新名簿広告代	2,665,000	活動費	728,769
雑収入	307,107	新名簿編纂諸費用	6,095,442
		雑費	25,608
		次年度繰越金	1,362,045
合計	15,915,905	合計	15,915,905

総明会 平成6年度 予算(案)

(自) 平成6年4月1日～(至) 平成7年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,362,045	第30回総会経費	4,010,000
第30回総会会費	3,210,000	第20号会報経費	2,700,000
第20号会報広告代	3,500,000	会議費	380,000
平成6年度会費	500,000	通信費	700,000
新会員入会金	2,400,000	事務・印刷費	250,000
名簿売上	300,000	公用費	200,000
雑収入	250,000	活動費	700,000
		基金積立	2,500,000
		予備費	82,045
合計	11,522,045	合計	11,522,045

平成五年度事業報告

部長　結城康郎
副部長　山形英明

総明会、旅行代理店と提携

総明会は、会員相互の交流を深め、活発な運営を目指し、親睦旅行を行なってきましたが、この度、旅行代理店である、東武トラベル㈱と提携致すことになりました。今後親睦旅行、ゴルフコンペ、スキーツアー等の企画をご案内させて頂くこととします。

同社には、総明会担当窓口を設置して頂いております。家族旅行、社員旅行、ご出張の切符手配等、「総明会会員」として お申込み頂きますと最大限の便宜を計ることができます。

尚、東武トラベルからは、会員の皆様方へ担当者がご訪問させて頂くこともございますので、よろしくお願い申し上げます。

■

第二回親睦ツアー　報告記

総明会事業部主催の第二回目の親睦ツアーが平成四年十一月二十一日(土)・二十二日(日)の二日間に亙って行われました。前回は韓国の歴史の旅がテーマでしたが、今回はNHK大河ドラマ「信長」にあわせ―織田信長・戦国時代への旅―がテーマでした。

参加者は、卯木副会長ご夫婦をはじめ、歴史の生きた勉強をということで、子供さんやご両親もお連れした服部雄二家の面々を含め総勢二十六名でした。

十一月二十一日(土)朝、東京駅を出発し、普段は見学できない「安土城跡」や「小谷城跡」をはじめとして、生きた歴史の探訪をいたしました。

夕食は「柳ケ瀬」の料亭で、宿泊は岐阜駅前のホテルでした。

翌二十二日はNHK大河ドラマのオープンセットや国宝の「犬山城」、そして加藤眞義氏紹介の造り酒屋試飲会等と硬軟とりまぜたスケジュールを楽しくこなしました。

ただ宿泊に関しては予算の関係もあり、一部の方々にはあまり十分でない宿泊しか提供できなかったことをお詫びいたします。

事業部では、また楽しくてためになる企画を考えておりますので、その節は是非多数の方がご参加下さいますようお願い致します。

平成五年六月二十日　結城康郎記

東武鉄道グループ
東武トラベル
運輸大臣登録一般旅行業第57号　JATA会員
本社／東京都中央区日本橋3丁目4番12号
― お問い合わせは ―
浅草支店／
東京都台東区花川戸1丁目2番6号
TEL. 03－3847－2750
担当：川上、内山
総明会と提携の旅行会社です
家族旅行・親睦旅行・社員旅行など お気軽にご用命・ご相談ください。

昭和四二年卒
結城法律事務所
弁護士
結城康郎
〒107 港区虎ノ門二―六―四 第十一森ビル九階
☎ 三五〇六―一一五一
FAX 三五〇六―一一五二

昭和四三年卒
佐久間法律事務所
弁護士
佐久間洋一
〒104 中央区銀座三―三―一五 銀座アベニュービル五階
☎ 三五三五―六七二一
FAX 三五三五―六七二〇

昭和四三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士
竹川忠芳
〒100 千代田区霞ヶ関三―六―五 霞が関三丁目ビル
☎ 三五〇四―一三〇八
FAX 三五〇四―一三〇七

昭和四四年卒
鎌田勇夫法律事務所
弁護士
鎌田勇夫
〒103 中央区日本橋久松町九―一三 日本橋久松町堀ビル八階
☎ 三六六四―六〇二一
FAX 三六六四―六〇一〇

昭和四四年卒
成富総合法律事務所
弁護士
田中等
〒100 千代田区丸の内二―六―二 丸の内八重洲ビル四〇八号
☎ 三二一五―一五一五
FAX 三二一六―〇四〇四

昭和四七年卒
五木田・三浦法律事務所
弁護士
三浦雅生
〒104 中央区銀座五―一―一五 第一御幸ビル六階
☎ 三五七五―〇一九〇
FAX 三五七五―〇一九二

昭和五一年卒（写真部）
原山法律事務所
弁護士
岡田正
〒105 港区愛宕一―六―七 愛宕山弁護士ビル六階
☎ 三四三七―三七一一
FAX 三四三七―三七一四

昭和五二年卒
岡村法律事務所
弁護士
續孝史
〒100 千代田区大手町二―六―二 日本ビル五一二区
☎ 三二七〇―二七六一
FAX 三二七〇―二四九八

記念講演会に寄せて

明治高校生時代の思い出

元東洋フライ級チャンピオン
三迫　仁志
（昭和二十七年卒）

昭和二十五年五月二十五日に四国の愛媛から上京し六月より明治高校に転入し、初めて登校した時の事は今でも鮮明に覚えております。校庭と運動場がコンクリートなのにまずびっくり。それに田舎の学校では通学はもとより何時も下駄履きでしたので、その通り下駄履きで登校しました。校内で歩く度にカランコロン、カランコロンと大きな音。直に先生から「登校は革靴を履いて来る様に」と注意され、生まれて初めて革靴を買った事をなつかしく思い出します。

又、これは楽しい思い出の一つですが、こんな事もありました。学校の昼食の時、何も知らない私は校外に出て近くの飲食店に入りました。そこには明高の制服を着た学生が五人居て一斉に私を見るなり「お前は明高生だろう」と問い掛けてきました。「そうだ」と云うと「明高生は昼時間は外出してはいけないんだ」と云うので「君達も明高生だろう」と問い返すと「俺達は良いんだ、俺達を知らないのか」と因縁を付けられました。表に出る出ないで揉めたのですが、すでにプロボクサーだった私は「殴り合いは商売だ」と啖可をきると「おい、いい度胸しているじゃないか俺達の仲間になれ」と云って最初に友達になったのが彼らでした。その五人は野球部の沖山、村山、松田、反野、半田だったのです。彼らは甲子園に行った球児達です。それからは日曜日等の練習のない日には沖山の家に遊びに行き、ご両親には大変優しくして頂きました。これら青春の思い出は今でも胸を熱くするものがあります。

第30回総会記念講演会

講　師　三迫仁志氏（昭和27年卒業）
と　き　平成6年11月5日(土)　午後4時開場
　　午後4時30分　講演会開会（入場無料）
ところ　ホテル ニューオータニ 本館　鶴の間

■経　歴
昭和9年1月10日愛媛県生れ。昭和25年5月野口ボクシングジム入門。昭和27年3月明治高等学校卒業。昭和30年1月全日本フライ級チャンピオン。昭和30年3月東洋フライ級チャンピオン。昭和31年3月明治大学商学部卒業。昭和35年12月三迫ボクシングジム創設。昭和38年4月株式会社三迫プロモーション設立。昭和50年3月全日本ボクシング協会会長就任。平成5年1月文部大臣スポーツ功労賞受賞。

■主な育成選手
輪島　功一・三原　正・友利　正・高橋　美徳・桜井　孝雄・門田　新一・名嘉真堅徳・西川　浩二・横沢　健二

祝　第30回 総明会　総会

トレーニングマシン導入／トレーナー、コーチによるマンツーマン指導
健康管理・減量指導／サウナ・シャワー完備

株式会社　三迫プロモーション
　　三迫ボクシングジム
代表取締役　三　迫　仁　志
〒179 東京都練馬区北町1—33—10　TEL.(03) 5398—2403

昭和二八年卒
中央監査法人
代表社員・公認会計士
熊木貞夫
〒100 千代田区霞ヶ関三—二—五 霞ヶ関ビル一四階
☎ 三五八一—六二八七

昭和四二年卒
朝貝公認会計士事務所
公認会計士
朝貝省吾
〒107 港区南青山二—四—九 クレインハイツ四〇三
☎ 三四〇五—一〇〇三
FAX 三四〇五—四六三二

昭和四二年卒
監査法人トーマツ
公認会計士
後藤孝男
☎ 三四五七—七三〇一

公認会計士
笹井和広
☎ 三四五七—七三〇四

〒108 港区芝浦四—一三—二三 MS芝浦ビル
FAX 三四五七—一六九四

昭和四三年卒
公認会計士
高橋明
〒136 江東区大島九—四一—一—三一八
☎ 三六八三—四三五二

昭和四七年卒
公認会計士
市東康男
〒130 墨田区業平二—五—一六
☎ 三六二二—二七三六

昭和五二年卒
山田辰巳事務所
公認会計士
山田啓介
〒180 武蔵野市境南町三—二三—一三
☎ 〇四二二—三二—一五—一一
FAX 〇四二二—三二—一五—一一

昭和五三年卒
中央監査法人
公認会計士
米山宜伸
〒100 千代田区霞ヶ関三—二—五
☎ 三五八一—六四〇七

昭和五四年卒
愛三電機㈱
常務取締役・公認会計士
河合洋
〒101 千代田区外神田一—一二—三
☎ 三二五三—三六一一
FAX 五二五六—三五七〇

昭和二一・二二年卒
午巳の会（代表世話人）
斎藤久也
〒146 大田区千鳥二—二五—五
☎ 三七五〇—五六九一

昭和三〇年卒 同期会
会長　大場隆之
副会長　伊藤寿
〃　八十島庸郷
〃　西秋忠男
〃　田村正彦
会計　中瀬裕
〃　中堀茂
幹事長　石田彰之
事務連絡先
〒275 千葉県習志野市袖ヶ浦四—一五—一四（大場方）
☎ 〇四七四—五三—二九七三

祝　総明会30周年

明駿会　昭和三六年卒

会長　加藤眞義
副会長　谷正之
会計　山田和男
幹事　浅古忠男
　岩沢光紘
　打越通雄
　佐藤達二
　佐藤文彦
　矢口博康
　矢嶋芳郎
　山鹿輝康
　江俣輝紀
　坂下修
　椎橋義夫
　田中祥介
　井口亘弘
幹事　石川守也
　納米秀明
　向殿政男
　池田実
　稲田昭
　武田雅夫
　任田武夫
　村田保広
　米田達彦
　吉田光夫
　片山智士郎
　神崎進
　野村明義
　増田敏男
　矢嶋芳雄
　山田和孝

男坂クラブ

昭和44年卒　一同

第三〇回総会おめでとうございます
我々も二年後の総会の幹事学年をまかされる年齢となり、今から身が引きしまる思いが致します。先輩方の築かれた伝統ある総明会が益々発展される事を心よりお祈りし、微力ながら我々もがんばる所存でございます。今後共よろしくご指導お願い致します。

昭和32年卒

明治会

昭和38年卒

『二年に一会』

50歳の節目の年　人生の折り返し時に、多数の参加を願っております。

１１月１８日（金）
PM6:00～8:30

二年に一会　会長　三浦昭生
幹事　渡辺昭宏　３６４１—８３６１

祝　第30回総明会総会

昭和41年卒

四一明友会

昨年度第29回総会に際しましては多大な御協力と御助力をいただき厚く御礼申し上げます。

昭和四四年度卒 同期会

獅子の会

幹事長　吉田耕太郎
総務幹事　高橋　功
〃　山形英明
常任幹事　米長　博
〃　松本勝彦
〃　新倉章次
〃　比留間竹郎
〃　中村裕次
〃　榊原光一
〃　星野　勲
〃　大石喜代司
〃　中村信也
〃　北島一弘
〃　石川雅経
〃　近藤彰克
〃　山野井英男
幹事一同
同期一同

明治高校同窓　木場グループ

昭和一八年卒　落合(㈱)落合製材社　博
昭和二三年卒　大堀(菱大木材)　義
昭和一九年卒　大出(大出産)　雅彦
昭和三〇年卒　細田(細田木材工業㈱)　孝治
昭和二一年卒　大出(大出産)　育男
昭和三二年卒　二瓶(二瓶)　満吉
昭和三三年卒　渡辺(渡辺商店)　徹郎
昭和三四年卒　前崎(前崎木曽檜店)　安義
昭和三五年卒　渡辺(渡辺商店)　治
昭和三五年卒　細田(細田木材工業㈱)　悌治
昭和三七年卒　郷野(郷野市商店)　純紘
昭和三七年卒　大出(大出産)　宏
昭和三八年卒　小川(小川水商店)　洋一
昭和三八年卒　村井(村井製材)　宏次
昭和三八年卒　野沢(野沢栄木材)　康衛
昭和三九年卒　堺(堺福寿木材)　健一
昭和三九年卒　鈴木(鈴木京正商店)　正之
昭和四〇年卒　鈴木(鈴木寿木材)　政明
昭和四一年卒　吉村(吉村壱商店)　正
昭和四一年卒　小川(小川丸水商店)　秀一郎
昭和四一年卒　亀井(亀井清商店)　清一郎
昭和四二年卒　平塚(平塚京梅商店)　敬太郎
昭和四二年卒　松崎(松崎森商店)　弘泰
昭和四二年卒　森(森商店)　秀男
昭和四三年卒　木下(木下商店)　登志一
昭和四三年卒　坂田(坂田商店)　真彰
昭和四四年卒　二瓶(二瓶雅商店)　太郎
昭和四四年卒　酒井(酒井晴木材)　比古
昭和四六年卒　庄野(庄野商店)　国彦
昭和四六年卒　森(森暁)　二郎
昭和四六年卒　金子(金子ベニア商店)　敏一
昭和四七年卒　山崎(山崎田鉄工所)　茂樹
昭和四九年卒　豊田(豊田)　和伸
昭和五一年卒　山本(東亜木材工業㈱)　哲夫
昭和五六年卒　小林(ミツ)　功治
昭和五七年卒　小泉(共木)　勝
昭和五八年卒　鴨川(鴨川商店)　明

明高柔道部OB会

相談役
昭和三〇年卒　福田二郎
昭和三一年卒　佐藤康明
昭和三三年卒　田中章雄
顧問
昭和三五年卒　大村勝利
昭和三六年卒　鳥海又五郎
会長
昭和三八年卒　小川洋一
副会長
昭和三七年卒　中谷捷治
昭和三八年卒　井上和洋
昭和三九年卒　中野一郎
幹事長
昭和三九年卒　中本義行
幹事
昭和三九年卒　佐々木隆夫
昭和四〇年卒　辻井俊一郎
昭和四一年卒　中島平人
昭和四一年卒　金子淑夫
昭和四二年卒　市倉　務
昭和四三年卒　今井振二
昭和四五年卒　加藤木裕司
昭和四六年卒　長野克彦
昭和四八年卒　濱本義典
昭和五〇年卒　近藤吉彦
昭和五一年卒　小山美津男
昭和五二年卒　大谷晴彦

昭和三〇年卒
財団法人 東京都柔道連盟
専務理事　福田二朗
〒112 文京区春日一―一六―三〇
☎三八一八―五六三九
FAX三八一八―四二四六

昭和三一年卒
㈱丸吉技販
代表取締役　佐藤康明
〒101 千代田区神田紺屋町六
☎三二五二―八四一一

昭和三三年卒
雄和企画㈱
代表取締役　田中章雄
〒105 港区東新橋一―二―一一 三陸ビル
☎三五七二―二七三七

昭和三六年卒
財団法人 全日本柔道連盟
事務局長　鳥海又五郎
事務局 〒112 文京区春日一―一六―三〇
☎三八一八―四一九九

昭和三七年卒
中谷捷治
〒157 世田谷区北烏山一―三八―八
☎三三〇八―八七五八

一般木材販売及造作工事
木材問屋
昭和三八年卒
㈱丸水商店
取締役社長
小川洋一
昭和四一年卒
専務取締役
小川秀次
〒136 江東区新木場一―九―六
☎三五二一―八八〇一(代)
FAX三五二一―八八〇四

昭和三八年卒
タウンショップ イノウエ
井上和洋
〒272 市川市八幡四―六―二
☎〇四七三―三四―四六二四

昭和三九年卒
㈱日本工業検査
中本義行
〒340 草加市青柳三―三六―七
☎〇四八九―三六―六八四八

娯楽の殿堂　みとやホール
喫茶・パブ　山の音
昭和三九年卒
代表取締役　中野一郎
昭和三九年卒
部長　佐々木隆夫
〒110 台東区竜泉三―一三―一二
☎五六〇三―〇八八八

昭和四〇年卒
日三鋳造
辻井俊一郎
〒332 川口市末広一―一六―三一
☎〇四八二―二三―三四五四

昭和四〇年卒
㈱インテリア ムラキ
村木博嗣
〒104 中央区八重洲二―一〇―一〇 ムラキビル九階
☎三二八一―四八〇〇

昭和四一年卒
中島畜産食品㈱
代表取締役社長　中島平人
本社 〒130 墨田区太平一―六―八
☎三六二五―四一二九(代)
FAX三六二五―四一三二

昭和四八年卒
四国商事㈱
濱本義典
〒165 中野区新井一―一五―一二
☎三三八六―五六六四(代)
FAX三三八六―七六一九

明雪会
(明治中・高校スキー部OB会)

名誉顧問
水落八郎

顧問
大津富士男 (昭和二八年卒)
佐藤健一 (昭和三一年卒)

顧問先生
村田博親
西村英之

会長
若松弘昌 (昭和三九年卒)

副会長
米山廣昭 (昭和四〇年卒)
堀真寿 (昭和四六年卒)

幹事
田村暢朗 (昭和三一年卒)
大出育男 (昭和三一年卒)
山田和孝 (昭和三六年卒)
井上進治 (昭和三八年卒)
関戸淳一 (昭和三八年卒)
山本一雄 (昭和四一年卒)
服部憲一 (昭和五〇年卒)

事務局
五十嵐公一 (昭和五四年卒)
伊藤真之 (平成三年卒)
伏原徳秋 (平成五年卒)

明治高校バレー部OB会

明治高校バレー部顧問
山中禎一郎

会長
山口一磨 (昭和二六年卒)

副会長
伊藤寿 (昭和二九年卒)
田村正彦 (昭和二九年卒)

幹事長
矢島芳郎 (昭和三五年卒)

茅原誠也
水谷守宏
戸谷誠樹
林貞利
小川裕行
郷野純紘
柴田正治
浜口武
川崎洸
酒井孝憲
橘知紀
大橋博
佐久間洋一

祝　総明会第30回総会

見心会
明治中学・高等学校剣道部OB会

祝　総明会第30回総会

明水会
明治中学・高等学校水泳部OB会　会長 寺村武二(昭和26年卒)

明卓OB会
(明高卓球部OB会)

名誉会長
昭和三〇年卒 宇田川雄弘

相談役
昭和二七年卒 安田実
昭和三〇年卒 西村昭
昭和三二年卒 井澤勝彦
昭和三四年卒 小林功明
昭和三七年卒 倉島孝夫

会長
昭和三八年卒 高橋正侑

副会長
昭和三九年卒 佐藤信征
昭和四〇年卒 秋田直好

会計
昭和四七年卒 遠藤裕司

幹事長
昭和四二年卒 山崎泰夫

常任幹事
昭和四〇年卒 新井利章
昭和四三年卒 堀川貴司
昭和四五年卒 荒川公一
昭和四六年卒 岩田順義
昭和四七年卒 前原正浩
昭和四七年卒 小川武志
昭和五〇年卒 佐藤富良
昭和五一年卒 浅川弘和
昭和五二年卒 富樫輝良
昭和五四年卒 鳴海秀幸
昭和五七年卒 川野秀一
昭和六二年卒 西山大典

※毎年OB会を開いています。OBの方々、多数ご参加下さい。

明高庭球部OB会

部長先生
尾崎義夫

会長
荒井重雄

昭和三六年卒
本多由明
〒103 中央区日本橋浜町二―一七―八
☎三六六六―六二七一

昭和四〇年卒
重田衛
〒270 千葉県松戸市久保平賀二〇二―五
☎〇四七三―四四―七六三〇

昭和四〇年卒
森真一
〒157 世田谷区北烏山一―五三―六
☎三三〇八―三八二二

昭和四〇年卒
吉田清志
〒235 横浜市磯子区洋光台北団地二―一―一―七〇一
☎〇四五―八三三―七七〇七

昭和四〇年卒
小池弘明
〒194 町田市つくし野四―二八―三六
☎〇四二七―九五―三七九七

昭和四二年卒
町田菊男
〒113 文京区本郷二―一二―三
☎三八一三―九八一五

昭和四二年卒
伊藤謙一
〒166 杉並区成田東五―二―九
☎三三九一―三二九四

昭和四二年卒
長谷部豊
〒299-02 千葉県袖ヶ浦市神納五〇九三
☎〇四三―八六二―七八二五

昭和四二年卒
新川昇
〒171 豊島区池袋二―二六―一一
☎三九八六―七四三一

祝　第30回 総明会 総会

明治大学附属明治高等学校応援団OB会

㈱ホテルニュー稲元
昭和二七年卒
代表取締役
稲田博士

昭和三三年卒
常務取締役
稲田勝久

〒413 静岡県熱海市東海岸町三―二三 サンビーチ前
☎〇五五七―八二―五三五三

昭和二七年卒
㈱米山富次郎商店
米山耕右

昭和二八年卒・明窓会
日榮精工㈱
青木登
〒171 豊島区要町三―四―一〇
☎三九五七―二二二六(代)
FAX 三九五五―一二二九

昭和三〇年卒
国語・国文学・古典籍・複製専門店
㈲日本書房
専務取締役
西秋忠男
〒101 千代田区西神田二―八―一二
☎三二六一―二七四四

昭和三一年卒
㈱日刊プロスポーツ新聞社
取締役社長
月岡洋児
〒116 荒川区東日暮里四―一九―二
☎三八〇六―一一一一

ビジネスホテル
ラフィネ マルタ 本郷
オーナー　宇田川雄弘　(昭和30年卒)
●ホテル　〒113　東京都文京区本郷6―16―11
TEL　03-3814-0311　FAX03-5689-4888

(東大正門前)

LAKE　SIDE　HOTEL
野尻湖　ラフィネ マルタ
セーリング／水上スキー／テニス／ゴルフ／野天風呂／スキー・黒姫／妙高／赤倉／班尾
オーナー　宇田川雄弘　(昭和30年卒)
お申し込み お問合わせ
●東京営業所　〒179　東京都練馬区早宮4－1－16
TEL　03－3993－6222　FAX　03－3993－5383
●ホ　テ　ル　〒389－13　長野県上水内郡信濃町大字古海4467
TEL　0262－58－2760　FAX　0262－58－3080

昭和三二年卒
㈱高文
高橋達三
〒101 千代田区内神田三―四―八
☎三二五二―二四八一

昭和三二年卒
文英堂印刷㈱
代表取締役
畑井健瑤誌
〒104 中央区入船一―九―一〇
☎三五五二―五八一一
FAX 三五五二―七六〇九

昭和三三年卒
関東ラス工業
代表取締役社長
北本雅章
〒136 江東区亀戸六―四―一〇
Kースクエアビル七F
☎三六八五―〇二四三(代表)

昭和三三年卒
ガンナンドー貿易
代表取締役
西塚邦雄
〒101 千代田区神田小川町三―二二
東京古書会館内
☎三二九四―三四七三

昭和三三年卒
割烹　藤屋
二村昌也
〒113 文京区本郷三―一五―二
☎三八一一―四四五九

昭和三三年卒
カネダ株式会社
米山武男
〒111 台東区浅草橋一―三四―九
☎三八六一―一三二一

LOVELON co.,ltd.

himico
昭和34年卒
代表取締役
高橋秀典

CHARMANT
昭和38年卒
専務取締役
高橋正侑

ラブロン株式会社　〒111 台東区浅草橋4-19-7　☎03-3862-7611(代)

三和繊維株式会社
昭和三四年卒
専務取締役
小林功明

昭和三七年卒
常務取締役
小林久剛

〒112 文京区千石四―三九―一九
☎三九四六―〇二四八(代)

小室鋼業株式会社
昭和三四年卒　小室秀夫
昭和三六年卒　小室雅夫
昭和三七年卒　小室輝夫
〒130 墨田区菖蒲橋一―七―七☎三六二五―二二二一

昭和三四年卒
貸画廊　ギャラリー嶋
村嶋大三郎
〒107 港区赤坂二―二一―二
☎三五八三―三八三三

昭和三四年卒
石橋義一
〒101 千代田区外神田三―六―八
☎三二五一―一四八四

昭和三五年卒
鰻　かねいち
鈴木勝
〒110 台東区東上野一―二三―五
店 ☎三八三一―七一二二
自宅 ☎三八三一―九六八〇

昭和37年卒
日本動物薬品㈱・日動食品㈱・㈱ヨシダ
代表取締役　吉田信行
〒124 東京都葛飾区西新小岩4-37-9　TEL (03) 3694―1277(代)

昭和三六年卒
㈱寿山堂印刷所
専務取締役
椎橋義夫
〒113 文京区本郷二―八―一
☎三八一三―四〇九一
FAX 三八一三―五五〇四

昭和三六年卒
うなぎ　かねいち
鈴木隆夫
〒101 千代田区神田神保町一―五一
☎三二九一―九二二一

昭和三九年卒
㈱シティハウジング
代表取締役
佐藤仁
〒144 大田区西糀谷四―二八―一四
☎三七四二―七一七七

昭和三九年卒
世界に飛躍するMPG
佐藤信征
〒171 豊島区千早一―三六―九
☎三九五九―一二五一

昭和四〇年卒
㈲サンクレスト
専務取締役
飯田宏
〒340 埼玉県八潮市二丁目一〇六九―一
☎〇四八九―九五―五九四一

大関電設㈱
昭和四〇年卒　大関清人
昭和四七年卒　大関邦二
〒115 北区赤羽西四―三―五
☎三九〇六―二七〇八

昭和四〇年卒
㈱金子紙工社
金子清
〒104 中央区八丁堀三―二三―九
☎三五五二―一八一一(代)
FAX 三五五五―三八〇四

昭和四〇年卒
マルトグラビア印刷㈱
村田英雄
〒124 葛飾区東立石一―五―六
☎三六九四―四一一八(代)

昭和四〇年卒
明優会
米山廣昭
転居しました
〒271 松戸市高塚新田一六〇―五八
☎〇四七三―九一―五〇三六

昭和四〇年卒
㈱松喜
代表取締役
諸橋良晶
〒111 台東区雷門二―一七―八
☎三八四一―二九八三

昭和四一年卒
亀井肇
〒131 墨田区向島五―三―五
☎三六二二―三八五〇(代)

昭和四一年卒
美津和食品㈲
代表取締役
菊地博道
〒110 台東区下谷三―四―五
☎三八七二―五四二七
FAX 三八七一―八三八八

昭和四一年卒
菊本紙業
菊本哲也
〒130 墨田区千歳二―一四―七
☎三六二一―一〇七六
FAX 三六三五―八四四四

自然が未来
TOEX
東洋エクステリア

庭が部屋になる。部屋が庭になる。
今、話題のガーデンルーム〈エクシオール〉。

これからは、わが家の庭で〝遊ぶ、くつろぐ。〟ホームリゾート時代
庭にエクシオールを付けると、春・夏・秋・冬… 四季折々のリゾート気分が満喫できます。
たとえば去年1年間の雨の日は、約120日もありました。
このような日でも、エクシオールのパネルカーテンをフルクローズにすれば、自然の楽しさを味わうことができます。
晴れた日はもちろんフルオープン。

●資料希望の方はハガキに資料請求券を貼付の上、送付ください。
資料請求券 M-7

エクステリア総合メーカー
東洋エクステリア株式会社
〒160 東京都新宿区新宿1-4-12

代理店
株式会社 マチダ
〒340 埼玉県八潮市二丁目1069-1

お問い合せは―― 0489(95)5941㈹

昭和40年卒
代表取締役 荒木 毅

昭和四三年卒
日東セロファン㈱
五味賢一
〒103 中央区東日本橋三―一一―一〇
☎ 三六六三―六〇六四

昭和四一年卒
エーゼット株式会社
〒101 千代田区神田佐久間町四―二三
服部洋一 昭和四一年卒
服部雄二 昭和四四年卒
大導寺和幸 昭和四四年卒

昭和四一年卒
㈱ツノダ
角田敏彦
〒112 文京区関口一―二三―六
☎ 五二六一―九一六一

昭和四一年卒
ちゃんこ巴潟
工藤建次
川越豊続
〒130 墨田区両国二―一七―六
☎ 三六三一―六七二九

エスニックなポージョライスの店
CARRY SHOP
CHAPS
TEL (3551) 8843
〒104 東京都中央区八丁堀2丁目16番4号

昭和四四年卒有志

岩渕善美
〒173 板橋区小茂根五―四―一〇
☎ 三九七三―六七一二

関谷芳久
〒123 足立区西新井栄町三―八―五
☎ 三八八六―三三一一八

佐伯正
〒110 台東区入谷一―一四―七
☎ 三八七三―九七〇〇

諏訪勝成
〒179 練馬区土支田一―二三―一四
☎ 三八六七―六二九七

田島実
〒135 江東区扇橋一―三―一三
☎ 三六四九―六三六三

高橋徹
〒225 横浜市緑区荏田西二―二六―六
☎ 〇四五―九一一―五一二五

桃澤茂治
〒130 墨田区千歳三―一五―一三
☎ 三六三一―〇八六二

中村正
〒112 文京区春日二―一四―九 小石川Jフラッツ八〇一
☎ 五八〇〇―四五八八

望月昇
〒171 豊島区池袋二―六〇―六―三一三
☎ 三九八八―二九七八

藁谷豊
〒359 所沢市若狭三―二五五―二―二四
☎ 〇四二九―四八―八六三二

昭和四四年卒
彩の家
ワイシー企画㈱
新築・建替工事・増改築致します。
藁谷豊
〒359 所沢市若狭四―二四八九―三
☎ 〇四二九―四七―一七七七㈹
FAX 〇四二九―四七―一五九一

昭和四八年卒
㈱秀和
常務取締役
浅賀久之
〒104 中央区築地二―八―一〇
☎ 三二四八―六二二二
FAX 三二四八―六二二七

昭和四九年卒
東京日産自動車販売㈱葛飾支店
高野裕己
〒125 葛飾区金町一―一一九―五
☎ 三六〇八―一六一一
FAX 三六〇八―六五四三

昭和四二年卒
日本航空
斎藤賢一
〒143 大田区南馬込一―五一―一四
☎ 三七七六―七八七七

昭和四二年卒
大衆酒場・酒菜家(さかなや)
鈴木輝郎
〒105 港区新橋三―一八―七
☎ 三四三六―〇八五五

昭和四二年卒
㈱寿楽
大野鈴雄
〒171 豊島区目白町三―一四―二一
☎ 三九五三―七八四五

昭和四二年卒
伊藤忠建材㈱
浜本満
〒300-12 牛久市柏田朝六〇五―七四五
☎ 〇二九八―七三―八〇三八

昭和四二年卒
㈱入間給食センター
代表取締役社長
斎藤正明
自宅 〒358 入間市宮寺二九九七―一
☎ 〇四二九―三四―四八二八
FAX 〇四二九―三四―六八一八

昭和四二年卒
㈱さんわコーポレーション
古川隆
〒490-11 愛知県海部郡大治町大字西條字附田一〇六の三
☎ 〇五二―四四四―二八二二
FAX 〇五二―四四四―一九二一

昭和四二年卒
㈱入田商会
取締役専務
森田市雄
〒130 墨田区亀沢三―二三―一四
☎ 三六二五―三八二一
FAX 三六二五―三九二一

昭和四二年卒
三協プレス工業㈱
常務取締役
花澤正克
〒266 千葉県緑区誉田町一―三二三
☎ 〇四三―二九一―〇二一一㈹
FAX 〇四三―二九一―〇一八一

昭和四二年卒
インデラ・カレー本舗
㈱インデラ
取締役
小泉隆
本社 〒358 埼玉県入間市東藤沢二―一七―一〇
☎ 〇四二九―六四―四五一一
FAX 〇四二九―六四―一二三四

昭和四二年卒
日本信託銀行 市川支店
浜田定明
〒262 千葉市花見川区花園町四二

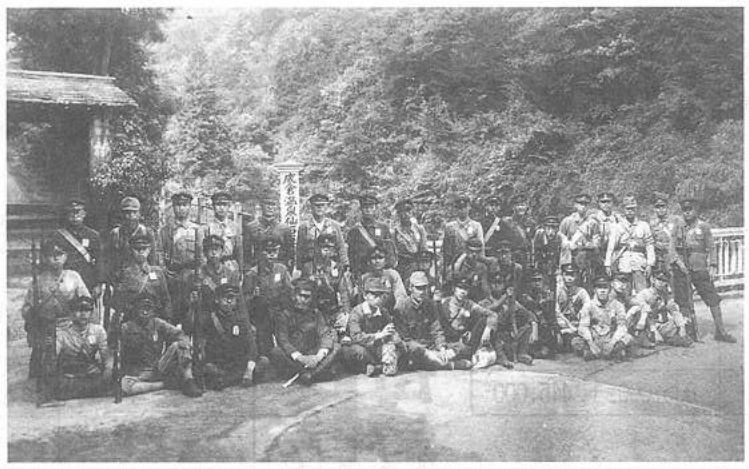
昭和四二年卒
明治生命
近藤健一
〒274 船橋市咲が丘二―四二―三
☎ 〇四七四―四七―六七七九

昭和四二年卒
㈱マルベル ㈱金多丸食品
取締役専務
三ツ澤博
〒272 市川市平田二―一二―一二
☎ 〇四七三―二二―五六〇五
FAX 〇四七三―二二―五六〇五

昭和四二年卒
高級ベビー子供ウェアー製造
㈱小倉メリヤス製造所
小倉和男
〒130 墨田区石原三―一二―九
☎ 三六二二―五〇八二

平成六年三月十日明治高等学校を卒業する二三九人の生徒とともに、OB(旧制明治中学校二十八期生・二十九期生)二十三人が感慨無量の想いで四十九年ぶりの卒業式に晴れて参列しました。

昭和二十年三月、あの東京大空襲の真っ只中、その前年四月から三ヶ所の軍需工場に分散し勤労動員されていた旧制明治中学校五年生は一年間授業を受けることなく、四年生は四年修了で卒業式も挙げられず卒業していきました。その後、「自分たちも卒業式に参列させてもらえないものか」と学校にお願いしたところ村野圭吾前校長がこれを快諾、実現の運びとなりました。



昭和19年秋 富士山麓への卒業記念修学旅行の途中、軍事教練で静岡県宮の下にて撮影。今回の卒業式に出席したOBの方々も写っています。

五十年前の旧制明治中学校は麻布・開成と並ぶ進学校で受験に重点がおかれ、生徒は勤勉かつ活発であり、また、明中の徴章のついた学帽とその制服に高い誇りを持っていました。OBの一人は「私たちは戦争に翻弄され、現在の生徒たちがおくっているような恵まれた学校生活や青春を楽しむ余裕はなかったが、決して自分たちが特殊だったのではなく、その時代・社会全体がそうであったとしか言い様がない。」と語っています。満足な学校生活をおくれなかったにもかかわらず母校に対する熱い想いと強い絆を持ち続けてこられたことに感動を覚えます。

今後とも各方面での一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

昭和20年卒 49年ぶりに 感激の卒業式実現

49年ぶりの卒業式に出席して

石塚　弘蔵　(昭和20年卒)

忘却の彼方に過ぎ去ろうとしていた私の一時期の区切りが、昨年秋の一通の封書に依って、俄に現実の姿となり、素晴らしい感動に身を震わしたのが、寄稿する動機となりました。

平成五年秋、私達が加入している〝明治中学29の会〟幹事の方より「我々が出来なかった明治中学校の卒業式を平成六年三月十日に行われる明治高等学校卒業式に臨席することによって、その感激を体験したいと思う。学校側も快く受け入れてくれたので、出席しないか」との連絡を戴きました。

私達は旧制明治中学校の二十九期卒業生で、当時「大東亜戦争」(私達はこう呼んでいました)も終盤を迎え、国家は我々青年の体力を極端に要求せねばならなくなり、学業も四年修了と言うことになり、先輩の五年生と同時に卒業しました。〝明治中学29の会〟は従いまして二期に亙って組織されております。

昭和二十年三月十日の東京大空襲は言い伝えられておりますとおり、私の地区にも地獄図を画きました。幸にも焼死を免れ、父の出身地山梨県塩山に避難し、卒業式に待機しておりましたが、当日朝、塩山駅では割当切符がないとのことで、汽車に乗車できず東京行を断念したことを覚えております。私は四年皆勤で当日表彰状を頂戴することになっておりましたので、その無念は今でも忘れられません。現実には学校側としても、卒業式の実施は不可能だったのです。

明治高等学校卒業式当日はあいにくの小雨模様でしたが、受付にはちゃんと二十九期生の分も有り、導かれて式場に入りますと、左側前列に多くの同期生の顔も見え、暫く久闊を温め、式は始まりました。残念なことに私達の手元に卒業証書はきませんでした、しかし旧師故山田市郎先生のご子息の山田伸夫教諭に一人一人各々氏名を呼ばれ起立し、明治大学総長先生、明治中学・高等学校校長先生他先生方に礼をし着席しました感動と、校歌斉唱の感激は終生忘れられるものではありません。

最後に拙文ではありますが大変なご努力を戴きました学校当局、並びに29の会幹事の方々に満腔の感謝と、出席できなかった同期生の多くの方々の無念を胸に一筆筆を取りました。

平成6年3月10日　49年ぶりの卒業式を終え
旧交を温めるOB「明治中学29の会」の方々。

明治中学・高等学校　略年表

1911(明治44)年9月	明治中学校設立認可願提出
1912(明治45)年1月	明治中学校設立認可　神田駿河台明大構内に木造3階建てを建築
4月	開校　初代校長鵜沢聡明
1917(大正6)年3月	最初の卒業生を出す。72名
1922(大正11)年3月	猿楽町に鉄筋コンクリート4階建ての新校舎落成
1923(大正12)年9月	関東大震災　火災を起したが11月に復旧
1945(昭和20)年8月	終戦　周辺は空襲により全滅したが、校舎は被害なく残る。
1947(昭和22)年4月	学制改革により新制明治中学校発足　木造校舎4教室落成
11月	PTA設立
1948(昭和23)年4月	学制改革により新制明治高等学校発足
1949(昭和24)年4月	校地を拡張し4号館鉄筋3階建て8教室落成
1959(昭和34)年4月	鉄筋4階建て15教室新築校舎落成
1962(昭和37)年9月	現1号館校舎竣工　調布市佐須町に総合グランド完成
11月	創立50周年記念式典
1965(昭和40)年6月	同窓会復活(現・総明会)
1972(昭和47)年11月	創立60周年記念式典
1982(昭和57)年1月	創立70周年記念式典、初代校長鵜沢総明の胸像建立
1992(平成4)年11月	創立80周年記念式典

昭和四二年卒
銚子市役所
根本忠雄
〒288 銚子市春日町二六一五―一二
☎ 〇四七九―二四―三五四九

昭和四二年卒
スズヤ
山本一雄
〒111 台東区浅草一―三〇―五
☎ 三八四四―〇八一八

昭和四二年卒
㈲フリーダム
代表取締役
村上潔
〒245 横浜市戸塚区汲沢一―一〇―二〇―一〇三
☎ 〇四五―八六二―一九三一
FAX 〇四五―八六二―一九四三

昭和四二年卒
歯科技工所から発生する石膏屑の無料回収及び貴金属屑の買取りを行なっております。
㈲松栄商会
代表取締役
小林正明
〒351 埼玉県朝霞市田島二―一三―七
☎ 〇四八―四五六―一一七七
FAX 〇四八―四五六―一〇三五

昭和四二年卒
東部ロックセルフペイント㈱
代表取締役
今村健治
〒120 足立区千住宮元町三―一〇
☎ 三八八八―五二八一
FAX 三八八八―五二八五

昭和四二年卒
野田鉄店
野田敏雄
〒114 北区滝野川六―六―一二
☎ 三九一五―七六二〇

昭和四二年卒
ユアサ商事㈱
島巧七
〒103 中央区日本橋大伝馬町一三―一〇
☎ 三六六五―五九九五

昭和四二年卒
㈱谷道
専務取締役
谷道俊雄
〒933 富山県高岡市問屋町一〇九番地
☎ 〇七六六―二一―一五五〇
FAX 〇七六六―二一―六七三一

ファンシー文具の製造メーカー
坂本文具株式会社
本社 〒111 台東区浅草三―二五―九
☎ 〇三―三八七六―一三三一
FAX 〇三―三八七二―四六三一
町屋工場・荒川区町屋二―一七―二五
第二工場・荒川区町屋七―二一―二

昭和四二年卒
代表取締役社長
坂本充章

昭和五四年卒
常務取締役
坂本雅宣

特色豊かに母校が発展することを願い！

母校明治中学・高等学校への入学と進路状況

ユニークな校風と個性を育むOB子弟が一人でも多く入学されることを祈って

◆学　費　未定（1994年度は下表のとおりでした）

	入学金	年間授業料	その他	初年度納入合計額	入学手続時納入額
中学校	290,000	430,000	145,000	865,000	415,000
高等学校	290,000	400,000	145,000	835,000	415,000

◆中学校入試科目・試験時間と配点

科目	国語	社会	算数	理科	合計
時間	50分	40分	50分	40分	180分
配点	100点	75点	100点	75点	350点

◆高等学校入試科目・試験時間と配点

科目	国語	数学	英語	合計
時間	50分	50分	60分	160分
配点	100点	100点	120点	320点

◆高等学校卒業後の進路状況

			1991年度	1992年度	1993年度
明治大学	一部	法学部	37名	37名	37名
		商学部	46名	56名	46名
		政治経済学部	42名	37名	39名
		文学部	11名	3名	10名
		理工学部	25名	33名	23名
		農学部	11名	8名	13名
		経営学部	34名	38名	42名
		（小計）	（206名）	（212名）	（210名）
	二部	法学部	0	2名	4名
		商学部	4名	7名	2名
		政治経済学部	8名	10名	6名
		文学部	2名	1名	1名
		（小計）	（14名）	（20名）	（13名）
	合計		220名	232名	223名
他大学・その他	国公立大学		0	1名	1名
	私立大学		0	2名	4名
	専門・各種学校		1名	2名	2名
	その他		5名	5名	9名
卒業生総数			226名	242名	239名

◆1995年度 中学校・高等学校募集要項

	中学校	高等学校
募集人員	約150名（男子）	約100名（男子）
出願期間	1月19日(木)～1月23日(月)	1月24日(火)～2月6日(月)
出願手続	郵送受付	郵送受付
入学試験日	2月3日(金)	2月15日(水)
試験日集合時間	午前8時10分・試験場	午前8時10分・試験場
試験科目	国語・社会・算数・理科	国語・数学・英語
面接		受験生
合格発表日	2月4日(土) 正午（掲示）	2月16日(木) 正午（掲示）
入学手続日	2月6日(月)・7日(火)	2月17日(金)・20日(月)

※受験料(1994年度)は中学校・高等学校 25,000円でした。

◆中学校・高等学校進学説明会

期日	中学校進学説明会　10月15日(土) 高等学校進学説明会　11月12日(土)
時間	14時～15時（集合時間：当日13時50分まで）
会場	中学・高校共本校2号館5階体育館（当日掲示で案内します）
内容	本校の教育方針と明年度入試について、その他質疑応答、校内見学（希望者のみとします）
対象	中学・高校受験の生徒およびその保護者

※上記以外の平日の校内の立入りはご遠慮下さい。

◆中学校入試状況

	1992年度	1993年度	1994年度
募集人員	約150名	約150名	約150名
志願者数	1208名	1390名	1126名
合格者数	220名	238名	246名
入学者数	147名	141名	135名
倍率	5.5	5.8	4.6

◆高等学校入試状況

	1992年度	1993年度	1994年度
募集人員	約100名	約100名	約100名
志願者数	819名	730名	413名
合格者数	136名	134名	114名
入学者数	82名	90名	78名
倍率	6.0	5.4	3.6

—ONWARD—

オンワードの男服。「五大陸」

昭和四二年卒　木場同期会

㈱亀清商店
亀井清一郎
江東区新木場一―二―一〇
☎三五二一―七七〇五

㈱森商店
森秀男
江東区平野二―四―六
☎三六四二―三八一一

㈲京梅商店
平塚敬太郎
江東区新木場三―九―九
☎三五二一―五一六六

卒業後の進路指導に好評のOB講演会を年二回開催

明治高等学校では進路指導のひとつとして、高校三年生を対象にOBによる講演会を毎年二回開催しています。今年度も六月十八日に第一回目が開かれなかなかの人気でした。現役大学生をはじめ各界でご活躍されているOB諸氏には今後も学校から講演依頼がありますので何卒ご協力をお願いします。

今回の講演者とそのポイントを要約し掲載しました。

林　健太郎氏（平成4年卒）
明治大学政経学部三年在学
■私の大学生活と旅の世界
■高校卒業までに何をすべきか
■大学で何をするかの前に一言
■今、求められていること
■面接までの君達への質問
■政治経済学部の現況紹介

●

富川　昌之氏（平成3年卒）
明治大学経営学部四年在学
公認会計士試験合格
■私の高校時代と学部選択
■経営学部の特徴と学生生活
■公認会計士について
■商、政経、経営の差は少ない
■生の英語に接することが大事
■付属生であることに誇りを

●

村上　武男氏（昭和48年卒）
明治大学商学部卒業
キヤノン株式会社勤務
■海外勤務の思い出
英語のできない国際経理マン
真っ青な空と照りつける太陽
10年間の海外勤務の総括
■外から見た「日本」という国
■これから大学にゆく皆さんに

●

平田　幸彦氏（昭和45年卒）
明治大学農学部卒業
ポトマックガーデン社長
プランツコーディネイター
■学部選択にあたって　好きなことを仕事にすることと、好き勝手にやることの違い
■自分の人間としての成長
■相手に満足を与えること
■社会人としての常識を作って
■大切なのは状況判断の能力
■成功の秘訣は総合能力次第で

●

谷　正之氏（昭和36年卒）
明治大学法学部卒業
弁護士
■職業柄、高校の基礎的な勉強が社会に直結していると痛感
■どの科目もしっかりと勉強を
■男にとって人生は即ち仕事であり、大学進学の学部により方向が決められる。学部選択は自分の人生の重要な場面
■夢を持つことは青年の特権
■司法試験は厳しい試験だが、それはこれだけの努力をして頑張る気持ちがあるかどうかという意味で厳しいのであって、才能の問題ではない
■挫折にへこたれない
■協調の精神を持つ
■明高三年生はたっぷり充電の済んだ電池のようなもの

陸上競技部 復活！

短距離と長距離のトラック競技東京都大会出場をめざし、桜田門広場を中心に皇居の周りを放課後ひたすらに走っている姿を見ると、部員の意気込みがひしひしと伝わってきます。背中にMEIJIのジャージを着ていますので、ぜひ声をかけて応援してください。

教育課程にも変革が!!

明治高等学校で大きく変ったものをまず取り上げてみると、最も注目されるものは高校三年で**文系と理系**とにクラスがわかれ、**少人数による演習ゼミナール**が採用されることです。生徒の個性を伸ばし明治大学での少人数ゼミナール制に直結した勉強が深くできるように、取り入れられることになりました。五クラスのうちどのような割合になるのかはまだ決まっていませんが、生徒一人ひとりの希望を取り入れてのクラス別けになる予定です。新しいカリキュラムは今年入学の高校一年生から実施されますので文系理系のクラス別けも二年後になります。

そして**家庭科の新設**があげられます。生活一般科目として週一時間の授業が実施されていますが、夏の林間学校（テントで三泊四日）での自炊実習も単位に含まれるとのことです。

次に**コンピュータールーム**が出来上がり生徒が各自でコンピューターを授業の中で取り扱うことができるようになったことです。クラブ活動でもコンピューター部は人気があり、BASICの勉強やCIA教育でも成果が期待されます。

最後に英語教育を充実するため、去年から明治中学・高等学校にAET（Assistant Teachers English 外国人講師）が採用されています。以前から英語が弱いといわれてきましたが、これで解消できるかな？　いや是非ともしてもらわねば……生徒諸君の一層の努力を期待します。

四半世紀前と12年前そして今年
明治中学・高等学校の班・部活動の変遷

○印1966年活動中 班・部名称		1982年	1994年	活動状況
生徒会本部	○	23人	29人	126／年
衛生班	○			廃班
応援指導班	○	15人	9人	3／週
教育宣伝班	○			廃班
新聞班	○	18人	12人	4／週
吹奏楽班	○	44人	49人	6／週
放送班	○	22人	15人	4／週
図書班	○	35人	21人	2／週
少年消防班		30人		廃班
剣道部	○	25人	22人	5／週
硬式野球部	○	32人	26人	6／週
軟式野球部	○	22人	32人	5／週
山岳部	○	高8人 中12人	23人	4／週
柔道部	○	34人	33人	5／週
水泳部	○	24人	54人	5／週
スキー部	○	14人	41人	5／週
相撲部	○			廃部
卓球部	○	10人	27人	6／週
中学野球部	○	10人	45人	6／週
庭球部	○	27人	71人	5／週
排球部	○	27人	30人	4～6／週
籠球部	○	42人	143人	5～6／週
フェンシング部	○			廃部
バトミントン部		28人	47人	5／週
ボーイスカウト部		10人		休部
陸上競技部			27人	5／週
英語部	○	19人	3人	2／週
マンドリンクラブ	○	36人	28人	5～7／週
科学部	○			廃部
国文研究部	○	1人		廃部
写真部	○	22人	8人	2／週
商業研究部	○	10人	12人	
書道部	○	8人	2人	2／週
生物部	○	16人	6人	3／週
地理研究部	○	25人	25人	4／週
美術部	○	8人	3人	
歴史研究部	○	18人	28人	3／週
J・R・C	○	323人	9人	1／週
インターアクト	○	323人		
物理部		36人	56人	3／週
天文部		11人	18人	3／週
囲碁部		15人	4人	2／週
将棋部		21人	17人	2／週
映画技術研究部		15人	5人	2～5／週
コンピューター部		27人	45人	3／週
アウタースペイス部		21人		廃部
化学部			9人	2～3／週
吟詠研究部			5人	1／週

昭和四二年卒業
マンドリンクラブOB一同
大戸義夫
岡田邦広
小沢清一
金子健三郎
川西孝
小泉隆
小宮隆仁
左山実
島巧七
杉健次郎
曽我日出雄
田島道明
只隅繁
田中康公
塚田正寿
中山敏昭
林明良
福島良夫
古屋恵三
村山雄三

昭和四二年卒
軟式野球部OB会
東部ロックセルフペイント㈱　今村健治
㈱ベストグリーン　大久保彰久
東興海運㈱　茅野幸雄
三光印刷㈲　倉又光仁
㈱山田屋酒店　斎藤正夫
㈱松ぎく　佐藤茂和
ツカモト㈱　佐藤隆士
㈱ミツキ　中村清
エムケー精工㈱　丸山繁夫
㈱菱和ツーリスト　丸山達雄

文化祭

十一月五日(土) OBも顔を出し 頑張る後輩を ぜひ応援しよう!!

今年の文化祭(紫紺祭)は十一月五日(土)・六日(日)の二日間本校にて行われます。紫紺祭は文化部が中心となって催されますが、残念ながらここ数年はいまひとつ元気がないのが実情です。文化部のレベルがその学校のレベルを現わすといわれるくらいですから、我々OBもひとつ顔ぐらいだして頑張っている後輩達を応援してあげようではありませんか。

今の文化部は歴史研究部と地理研究部が全体を引っ張っているようですが、マンドリン部や写真部も相変わらず高いレベルを保って活動していますし、将棋部や囲碁部にいけば現役明治高校生の知能の高さを体験できるでしょう。そして、去年から露店で金券制が導入され好評を得ていますし、文化祭実行委員の生徒達は夏休みも返上して準備しているといいます。

●今年は紫紺祭一日目の十一月五日(土)が総明会第三十回総会の日にあたりますので、この日はまず明治中学・高等学校の文化祭にぜひ顔をだし露店で軽く食べて後輩達を励まし、そして四時からホテルニューオータニに出向き三迫氏講演の楽しい話を聞き、そのあとは懇親会で食べて飲んで昔の友と語り合い、海外旅行等が当たる福引きに期待するという一日を過ごしてみてはいかがでしょうか。●

■「過程42」に文化祭・体育祭実行委員会の各委員長が寄稿してます。紙面の都合上抜粋掲載しました。現役明治中学・高等学校生徒の活動や考え方が伝わってきますので、是非とも読んでください。

体育祭

中学と高校を 別々に行う

これまで体育祭は、中学・高等学校合同でつつじヶ丘グランドにて行われていましたが、昨年度から中学生の自主独立を目覚めさせるため、別々に行うことになりました。今年度も中学が十月二日、高等学校が十月一日に行われるので良い結果を期待しています。いずれにしても、古い伝統の中で新しい試みに挑戦する学校側の姿勢は評価されるものです。

「成せば成る」

文化祭実行委員長　星野　淳

文化祭実行委員長を務めあげ、私の心はその満足感と反省と脱力感に占領されている。つらく、長く、険しい道のりだった。人の上に立てるような器ではない私が実際にそういう立場に立ってみて、一番感じたことは「リーダーは孤独である」ということだ。私は誰かにすがりたい気分だった。私は身も心もボロボロになった。砂漠を歩いているようだった。成績は下がり、頭もうすくなった。しかし不思議なもので二学期に入ると頼れる仲間と共に突走った。中間試験が終わると血わき肉躍った。土曜はにわか雨となり明日は晴れると信じて、皆、犬のように働いた。そんな彼らに私は頭が上がらない。今年初の露店金券制もうまく行き、大盛況のうちに幕を閉じた。我々も燃え尽きた。後夜祭の時、私の心は感動と涙の嵐であった。皆が天使に見えた。たった二日間の為に六ヶ月間ただひたすら考え、汗を流したみんなに「お疲れ様、有難う」と心から言いたい。私はかけがえのない経験と、そして仲間を手に入れることが出来、とても嬉しい。

体育祭を終えて

高校実行委員長　内田　太樹

本当によく働いた。閉会式も終わり、後かたづけが終わる頃には、太陽が消える直前だった。本当に嬉しかった。涙より笑いがこぼれた。今年から、中、高別になり、役員の組織なども大分変わった。はっきりとしたものを得ることができないまま、一学期が終わった。まあ、なんとかなるだろう、と思って二学期に登校すると、体育祭当日まで、あと一ヶ月くらいしかなかった。非常にあせった。各部、クラスの代表が、自分から動き出してくれた。高一の草刈りが、雨で中止になった。有志で草刈をする、と自主的にやってくれる人がいた。テーマの「団結」を実践しているようだった。予行の日、わからなかった悪い点が、たくさんでて目の前が暗くなった。当日、天候にも恵まれプログラムがこなされていくのを、私は大きな期待と不安を抱いて、見ていた。体育祭が終わった。成功だった、と私たちは信じている。開催に尽力してくれたあなたたちのおかげです。体育祭を通じて、わかったことがあります。『一生懸命やれば、誰かがわかってくれる』

第一回中学体育祭 準備委員長として

中学実行委員長　坂本　直樹

我が校初めての、体育祭中高分離、その中学体育祭を任された時の緊張感は今でも覚えています。初めから多くの問題が原因で、仕事が、まだ未熟である私を中心に空回りをする毎日が続きました。自分のリーダーへの理想と現実がくいちがっていると気付いたのもその頃でした。先頭で物事を引っ張るのがリーダーであると思っていましたが引っ張るどころか、先頭がこけてしまうことさえあったのです。友が私を手伝って、励ましてくれました。仕事をしていて自分は無力だが、それなら、無力なりに努力していこうと思ったのです。少し自覚が足りなかったのかも知れません。今回の体育祭で責任の重さ、信頼の重要さ、仕事を成功させた時の喜びなど、数々の大切な事を教わりました。第一回中学体育祭、それは私の成長の場であったのです。

昭和四二年卒
朝日隆夫
〒331 大宮市指扇六三二―B二〇三
☎ 〇四八―六二二―六二〇八

昭和四二年卒
鹿島建設
吉野裕二
〒116 荒川区南千住六―三七―七―三〇二
☎ 三八〇五―五〇三九

昭和四二年卒
柴田商事㈱
柴田英一
〒164 中野区東中野三―一六―一一
☎ 三三六八―七六一五

昭和四二年卒
メガネのタカハシ
髙橋順二
〒359 所沢市松葉町六―一七
☎ 〇四二九―九四―七九二五

昭和四二年卒
㈱寺島製作所
寺嶋章
〒124 葛飾区西新小岩五―二六―三
☎ 三六九一―九二七三

昭和四二年卒
東芝設備機器㈱
町田菊男
〒113 文京区本郷二―一二―三
☎ 三八一三―九八一五

昭和四二年卒
尾久製パン㈱
春日敏明
〒116 荒川区東尾久一―二四―一九
☎ 三八九二―三九二四

昭和四二年卒
㈱アムスク
小山好幸
〒157 世田谷区南烏山六―三〇―二三
☎ 三三〇八―六二七五

歴史研究部OB会

名誉顧問　伊藤好一
保坂吉彦

顧問　粟野哲也

名誉会長　麻生優（昭和二五年卒）

会長　大橋正爾（昭和二八年卒）

事業部長　池田高征（昭和三八年卒）
結城康郎（昭和四二年卒）
山形英明（昭和四五年卒）

事務局　鈴木勝一路（昭和三八年卒）
谷郷敬二（昭和四七年卒）
宇田川正宏（昭和五一年卒）

会員数　一三四名

第30回総明会ホスト学年

昭和42年卒業「M41」の私達が皆様のホストをつとめさせていただきます。

第30回総明会総会ホスト準備委員会結成のため、故三田行男先生をはじめ恩師の方々にご出席頂き、平成5年4月幹事学年同期会開催

朝日隆夫　大戸義夫　川西孝
大久保彰久　大橋博　腰塚義和
小澤清一　倉又光仁　斎藤徹
小野田悦郎　小林則夫　笹井和広
小幡文良　斎藤和夫　左山実
金子健三郎　斎藤正夫　柴田英一
小林正明　斎藤賢一　新川昇
斉藤正明　坂本充章　杉健次郎
市倉務　福島良夫　鈴木輝郎
左部岳美　只隈繁　高野清
塩田喜三郎　田中庸公　高橋順二
島巧七　中村清　谷道俊男

末広純一　中山敏昭　土屋隆昭
平塚敬太郎　長谷部豊　寺嶋章
古屋恵三　林明良　新村秀男
松浦康夫　倉内幸雄　野田敏雄
松崎弘泰　平澤一義　馬場栄一
松村好庸　森田市雄　古川隆
丸山達雄　山本一雄　堀井健至
山崎泰夫　吉野裕二　松永周作
池田信義　伊藤謙一　三ツ澤博
今村健治　大野鈴雄　村西一郎
浦本政明　岡田邦広　横瀬昭夫

大塚博　朝貝省吾　小倉和男
石井康男　菊地初八
森本博巳　石神修司　後藤孝男
村山雄三　伊藤秀文　小宮隆仁
宮坂信幸　春日敏明　小宮秀夫
水口茂　亀井清一郎　近藤勇
丸山繁夫　茅野幸雄　佐藤茂和
町田菊男　小泉隆　佐藤隆士
前田一男　小山好幸　田島道明
花島一夫　近藤健一　田中正博
花澤正克　沼尻英明　塚田正寿
根本忠雄　曽我日出雄　雪野利一
結城康郎　沼尻哲
佐藤隆士　浜田定明
田島道明　浜本満
田中正博　古沢謙
塚田正寿　村上潔
雪野利一　茂木照男
森秀男

次年度幹事学年

昭和四十三年卒業　同期会

本年は記念すべき第三十回総明会に当る年であり、今年も無事総明会が開かれる運びになりました事を心よりお祝い申し上げます。

扨、総明会が発足してから三十年の間には様々な事がございましたが、時代がバブル崩壊からより厳しい時代に変化しつつある今、また新しい形での総明会を築き上げることは我々後輩の役目でもあります。

私事で恐縮でございますが、過日西新井大師の中田屋の中田さんと仕事をする機会がありました。数か月後、打ち解けて話せる仲となり、学生時代の話題になりました。話していくうちに松枝先生の話になり、そこで初めて六学年上の大先輩と判り、とかく仕事ばかりの生活の中に学生時代の楽しかった思い出がよみがえりました。そういう目に見えない繋がりは、社会に出ても大変嬉しく、懐かしく、頼もしい気持ちにさせてくれるのは私だけではないと思います。

我々昭和四十三年卒業同期会は、次年度総明会を実行するに当り、母校の校風である質実剛健の精神で団結し、良き師、良き先輩、良き後輩、良き友の絆を強める為に互いに協力し頑張っていきたいと思います。

昭和42年卒業
倉又光仁

虎ノ門サンライトビル
■ 港区虎ノ門3-18-13
■ 地上7階　地下2階
■ 貸室面積 23.87㎡
■ 地下鉄「神谷町」真近
■ 1993年6月竣工
■ お問い合せは下記へ

■ 会社案内
■ 学校案内
■ ポスター
■ パンフレット
■ 会　報
■ DM
■ 帳　票

Graphic Planning & Printing
Sanco printing inc.,
Toranomon San-light Building
18-13, Toranomon 3-chome,
Minato-ku, Tokyo 105
phone:03/3434/3738
fax:03/3434/2614

昭和42年卒
よい米　よい水　よい風土
契約特栽産地
コシヒカリ　新潟　魚沼
アキタコマチ　秋田　仙北
ヒトメボレ　福島　会津
お米のことならなんでも揃う
市川食糧株式会社　取締役　平澤一義
〒272 市川市宮久保1−14−1
TEL 0473-72-3141㈹　FAX 0473-72-3143

昭和四二年卒
東京工機㈱
常務取締役
腰塚義和
〒275 習志野市東習志野六−二〇−七
☎ 〇四七四−七七−三三一一
FAX 〇四七四−七七−三二八六

昭和四二年卒
日本化薬㈱
伊藤謙一
〒166 杉並区成田東五−二−九
☎ 三三九一−三二九四

昭和四二年卒
㈱三協
小澤清一
〒112 文京区小日向一−六−九−二〇二
☎ 三九四四−六二六六

昭和四二年卒
機械・工具　山崎精工㈱
山崎泰夫
〒116 荒川区東日暮里六−二七−七
☎ 三八〇三−二五一一

昭和四二年卒
M41・昭和42年卒同期会
㈱チュウセキ　土屋隆昭
㈱ムラニシ　村西一郎
孫悟空・スーパーしまや　新村秀男
㈲アップル エンタープライズ　堀井健至
東京特殊鋼㈱　斉藤徹

キリンビール株式会社
キリン一番搾り

明大運動部のたまり場
横山酒店
〒101 千代田区神田小川町三−二〇
明大横
☎ 三二九一−八九三四

高級北京料理
蓬莱閣
上野公園表面入口前
☎ 三八三一−一七六三
東興楼
西銀座七−一

美味しさが舞う。
北京料理の華やぎの世界。
後樂園飯店
KORAKUEN HANTEN
東京ドームすぐそば
営業時間／十一時三十分〜二二時
パーティ 二五〇名様まで
ご予約専用 ☎ 三八一六−四八三二
FAX 三八一七−六一四一

夢をかたちに
KUROSE DESIGN OFFICE
〒102 東京都千代田区飯田橋
2−11−5 栄昇ビル501
Phone 5276-6467

第30回 総明会 総会 開催のご案内

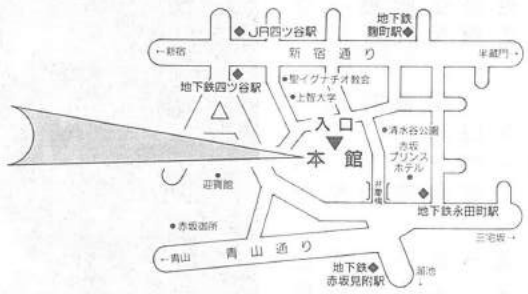
平成6年11月5日(土)午後4時開場

ホテルニューオータニ 本館 鶴の間

東京都千代田区紀尾井町4番1号　TEL. 03(3265)1111番

■地下鉄　赤坂見附駅・永田町駅下車 徒歩3分　麹町駅下車 徒歩6分

■JR　四ツ谷駅下車 徒歩8分



総会に初参加する方、総会の様子が判らず戸惑っている方々に総会当日をシュミレーションしました。下記ご参照のうえ講演会・総会・懇親会にぜひともご参加賜りますようご案内申し上げます。

初めてご出席する会員の方大歓迎します！声を掛け合って一人でも多くの皆様のお出かけをホスト幹事学年昭和42年卒業「M41」一同心よりお待ち申しております。

入場券について ※会場受付にて当日発売

会費　12,000円（65歳以上の方は10,000円、同伴ご婦人と現役生は6,000円）

名札　受付を済まされた方は入場券裏面が名札となりますので、ご卒業年とお名前を各自記入して胸ポケットに差し込みご呈示ください。

領収書　入場券裏面に記載してあります。

土産品　ホスト幹事学年昭和42年卒「M41」の有志が自社製品を中心にバラエティーに富むさまざまな独自の商品を入場者全員の方へお帰りの際お渡しする土産品として提供用意しました。皆様のお手元にどのような土産品が届くかはヒ・ミ・ツ！
入場券裏面に土産品引換券が記載してあります。

福引き券　ご来場受付の際、入場券の福引き券部分を切取り、所定の箱に必ず投函してください。当日懇親会会場で行う福引き抽選会において当たり籤を抽選します。その当たり籤番号と入場券裏面記載の福引き抽選番号が同一の方が当選ですので、お申し出ください。会場でこの福引き抽選券番号を確認後、賞品をお渡しします。当選をお楽しみにその瞬間をお待ち頂き、大切に保管してください。

第30回総明会 総会 会場

記念すべき第30回総会にふさわしい雰囲気をもち、皆様よくご存じで、交通の便もよく、お料理もおいしいホテルニューオータニ 本館 鶴の間を総会会場としてご用意いたしました。

平成6年11月5日(土)

当日はお日柄も良く結婚シーズンですので、会場付近はめでたさ一杯の雰囲気で盛り上がることでしょう。

午後4時開場 受付開始

政治の中心地でもあり日本の顔でもある会場付近を散策してからご来場してはいかがですか。
ホスト幹事学年昭和42年卒「M41」スタッフ一同会場設営など準備万端怠りなく、用意周到に受付いたしますので、皆様のお早めのご来場をお待ちしております。

午後4時30分 記念講演会開会

記念講演会にご参加の方は受付を済ませてから講演会会場へご案内いたします。第30回総会記念特別企画として約1時間の予定で、数々の世界チャンピオンを育てた三迫ボクシングジム会長・元東洋フライ級チャンピオン三迫仁志氏(昭和27年卒業)の講演会を開催します。質問などフロアーからの発言も大歓迎します。
もちろん記念講演会の入場は無料です。

午後6時 総明会総会開会

記念すべき第30回総会式次第は会長挨拶、会務・会計・監査報告の議事、来賓代表ご挨拶の予定でございます。
会員皆様には立ち席で誠に恐縮ですがしばらくの間、総会進行にご協力をお願いいたします。

午後6時15分 懇親会開会

さてお楽しみの懇親会の始まりです、乾杯のご発声を初めご来賓の方々からご祝詞をいただきながら、皆様ご歓談のひとときを過ごし大いに盛り上がってください。ご歓談中は今回アトラクションを行いませんが、バニーガール・コンパニオンによる色々なサービスを企画準備しております。お楽しみにおこしください。

午後7時30分 福引き抽選会

お待たせしました今回のメインイベント// 豪華海外旅行等が当たる福引き抽選会のお時間です。

- **1等賞　ペアでハワイ旅行**
- **2等賞　ペアでグアム旅行**
- **3等賞　ペアで熱海一泊宿泊券**

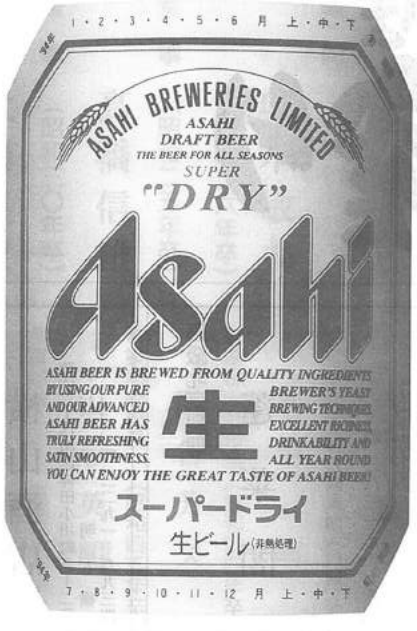
バニーガールが福引き券を抽選し、当たり籤を会場にて発表しますので、お申し出ください。当選のお申し出がない場合、福引き抽選番号を確認できない場合等は再度抽選を行います。

午後7時45分 校歌斉唱

さていよいよ、毎年最高に盛り上がる時間です。そう校歌斉唱です。先輩・同期・後輩そして同伴ご婦人のご来場のみなさん、肩を組み大いに校歌を歌いましょう！

午後8時 閉会 土産品引換

そろそろ記念の第30回総会も幕引きの頃です。大いに語らい、大いに食べ、そして大いに飲み、素晴らしい時間をより多くの方々と過ごしたいと思っております。
お帰りの際、ホスト幹事学年が知恵を絞った土産品を入場者全員の方へお渡しいたします、お持帰り頂きご利用していただければ幸いでございます。



うまさ洗練、辛口・生。

アサヒスーパードライ

ビールは20歳になってから。アサヒビール株式会社